

農学部は

2024年4月に

生まれ変わります



国立大学法人
鹿児島大学 農学部
FACULTY OF AGRICULTURE KAGOSHIMA UNIVERSITY





農と環境・食と健康への
関心と興味が君を育てます



食と農、森と水、
基礎から
最先端バイオまで。



農学部は、平成21年に開学100周年を迎えました。
鹿児島高等農林学校講堂(鹿児島大学農学部前身)

Question

卒業後の夢について
教えてください。

私の夢は気象予報士になることです。ここ数十年、地球温暖化や災害の激甚化など環境は大きく変化を続けています。学科の講義は水、森林、経済、気象、作物、土砂災害、機械など農業や環境にまつわる分野を幅広く学びます。大学で学んだ幅広い知識を用いて変化の激しい環境や災害にも立ち向かい、人々の役に立ちたいと考えています。

荒場 梨瑚
農学部 農林環境科学科 4年
鹿児島県出身 池田高等学校卒業

Question

あなたが本学科を
選んだ理由は？

鹿児島県という農業が盛んな場所で、農学について学んでみたいという気持ちがあったため鹿児島大学を選びました。この学科では牧場や果樹園、農場などで実際に機械に乗ったり、収穫などの作業をすることができます。このような体験ができる学校は数少なく、豊かな自然に囲まれた鹿児島大学の魅力であると感じています。

田中 雄大
農学部 農業生産科学科 4年
兵庫県出身 浜坂高等学校卒業

Question

卒業後の夢について
教えてください。

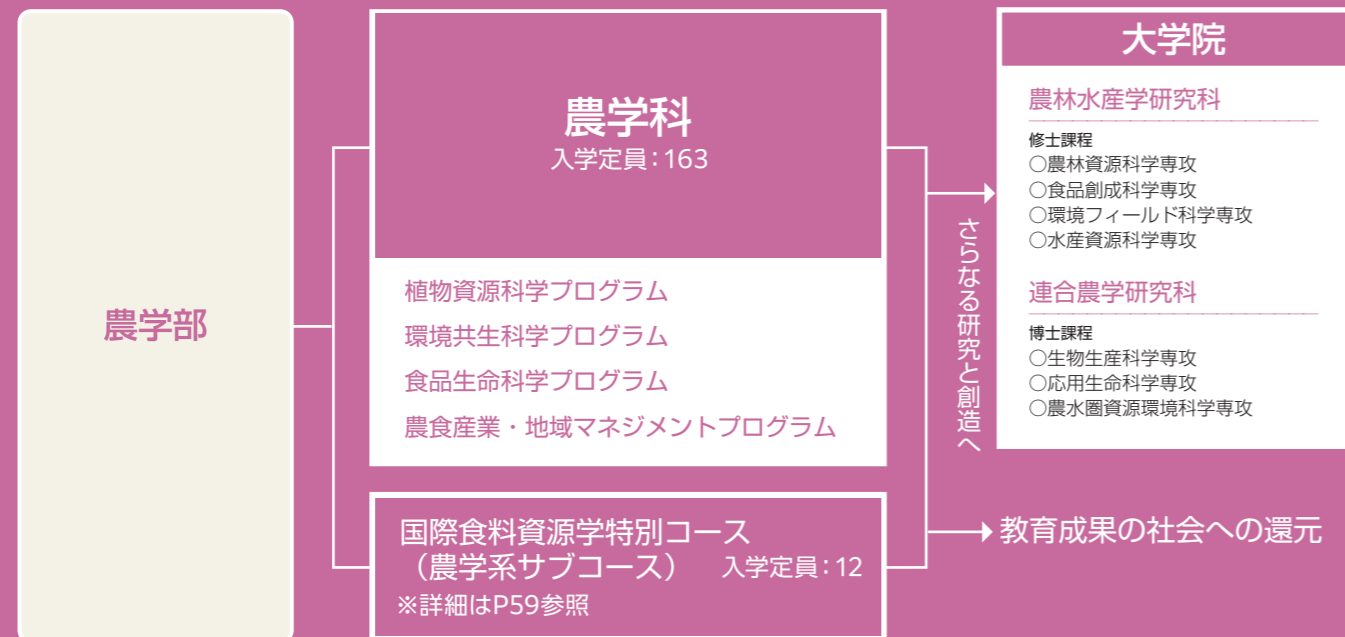
焼酎について学ぶうちに、焼酎をはじめとした酒類全般に興味をもちました。だから、お酒に関わる職に就きたいです。さらに言うならば、開発や製造に関わりたい……!お酒に限った話ではありませんが、自分が「好きだ!」と思うものを己が手で作り上げて世に送り出せるというのは、とても魅力的ですね。

稲田 桂香
農学部 食料生命科学科 4年
長崎県出身 諫早高等学校卒業



農学部…A-36~41

》 学部の構成



》 学部の理念

日本の食糧基地に位置する農学部は、農林業、食品産業等、食住農関連分野の技術者、地域指導者等を養成しています。農学部は温帯から亜熱帯へ数百 km に及ぶ多様な自然環境を背景にもち、明治の開学以来、海外への展開を使命としてきました。そのため、フィールドでの教育を重視し、豊かな人間性、現場での実践力、優れた応用力、広い視野と国際性の涵養を教育の目的としています。

- 最先端の科学技術教育** ◎発酵・バイオ・食のサイエンスを極める
食と農・環境関連分野の実践重視教育 ◎温暖な環境に恵まれたフィールドなどでの実習・実験



》 教育目標

多様な自然環境と生物資源に恵まれた鹿児島の地域特性を活かした主体性重視の実践教育及び 分野横断型農学 DX 教育により、我が国の持続可能な農林食産業の発展と地域の課題解決に農学総合力と専門性を持って果敢に取り組み、新時代を自ら切り拓くことができる人材の育成を目標とする。

》 アドミッション・ポリシー

農学部は、次のような学生を国内外から広く求めています。

1. 農学関連分野に強い関心を持ち、将来これらの分野で活躍をめざす意欲のある人
2. 自然科学の幅広い知識と英語の基礎的な学力を備え、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の修得に意欲のある人
3. フィールドや生産現場での技術・研究に強い関心を持ち、農林業に関する実務・実技能力の向上を目指す人
4. 多様で持続的な社会の構築に参画し、地域社会、国際社会に貢献することを目指す人

》 施設・環境

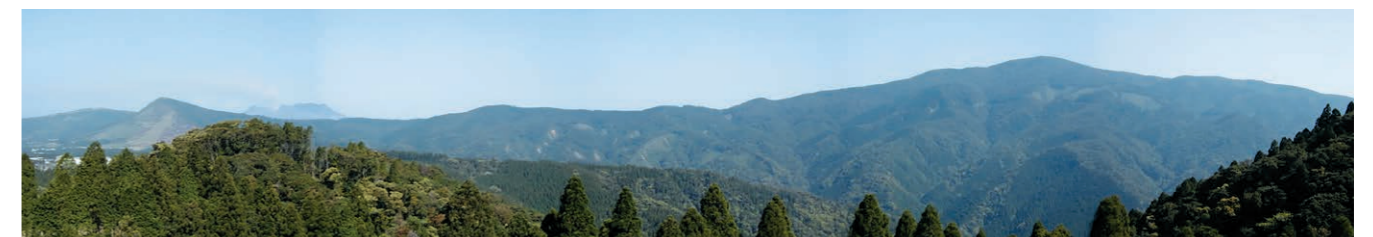
農学部は平成17年～19年に現在の建物に改修され、鹿児島大学郡元キャンパスの北端に位置しています。本学部の附属農場、附属演習林はいずれも国立大学の中で有数の規模を誇ります。また、学内だけでも3万㎡を超える農場と植物園を有し、郡元キャンパスに長閑さと緑の潤いをもたらしています。



▲農・獣医共通棟



▲農学部附属農場



▲農学部附属演習林(高隈演習林)

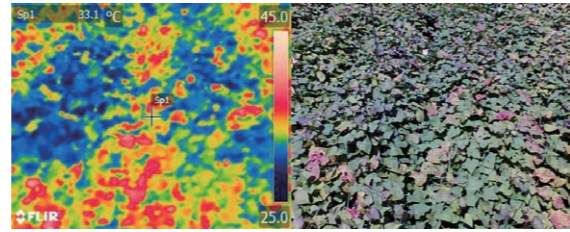
植物資源科学プログラム

主な
学びの
分野

作物学、熱帯作物学、植物育種学、比較環境農学、果樹園芸学、観賞園芸学、植物栽培・機能学、土壌科学、植物病理学、植物生命工学、植物栄養・肥料学、環境情報システム学、農業環境システム学

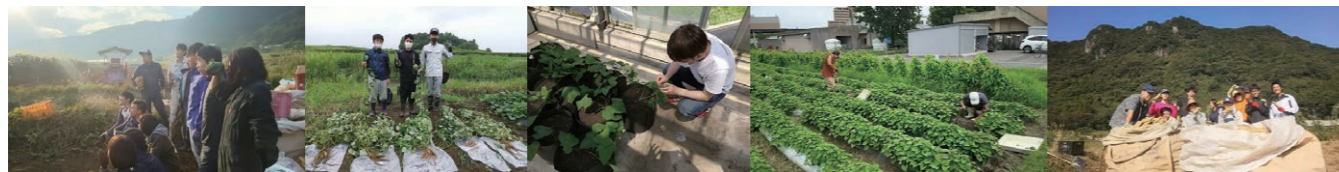
先進技術による植物資源の生産と活用を実現する

植物を資源とする農産物の生産・開発に関する分野について教育・研究する。温帯から亜熱帯にまたがる鹿児島県の地域特性を活かし、九州・南西諸島地域の農業の現場をフィールドとして、新しい植物資源生産技術と植物資源を活用した新たな農業の創出に貢献できる人材を育成します。



主な授業科目

- | | | | |
|------------|------------|-----------|-----------|
| ○ 遺伝学 | ○ 応用植物科学概論 | ○ 栽培技術論 | ○ 観賞園芸学 |
| ○ 植物栄養・肥料学 | ○ 果樹園芸学 | ○ 蔬菜園芸学 | ○ 土壌科学 |
| ○ 植物病理学 | ○ 熱帯作物学 | ○ 植物育種学 | ○ 植物遺伝資源学 |
| ○ 比較環境農学 | ○ 食環境微生物学 | ○ 食料安全生産論 | ○ 農場実習 |
| ○ 作物学 | ○ 農業機械学 | ○ 耕地生態学 | ○ 農業気象環境学 |



環境共生科学プログラム

主な
学びの
分野

育林学、森林計画学、森林政策学、森林保護学、木質資源利用学、砂防・森林水文学、利水工学、農地工学、害虫学、蔬菜園芸学、動物行動学

生物多様性の保全と農林産物の生産活動が調和した持続的発展を実現する

環境の保全や農林産物資源の生産に関する分野について教育・研究する。グローバルかつ地域的視点をもって自然資本を理解し、生物多様性の保全に関する諸問題の解決に取り組み、持続的かつ安定的な農林業生産活動に貢献する人材を育成するプログラムします。



主な授業科目

- | | | | |
|-----------|----------------|-------------|-----------|
| ○ 環境共生農学 | ○ 土壌科学 | ○ 環境フィールド演習 | ○ 農業気象環境学 |
| ○ 基礎統計学 | ○ 応用数学 | ○ 農地保全学 | ○ 景観デザイン学 |
| ○ バイオマス工学 | ○ 農林産物サプライチェーン | ○ 水土実験 | ○ 害虫学 |
| ○ 応用動物行動学 | ○ 森林動物学 | ○ 森林経済学 | ○ 森林保護学 |
| ○ 森林微生物学 | ○ 木質工学 | ○ 育林学 | ○ バイオマス工学 |



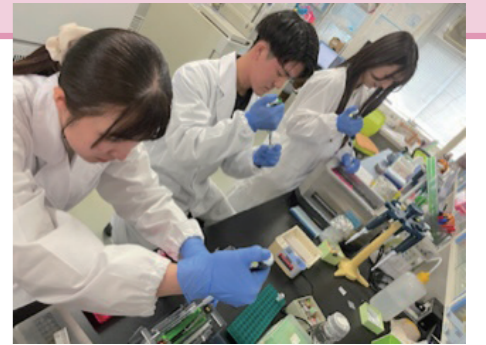
食品生命科学プログラム

主な
学びの
分野

食品分子機能学、食品化学、生分子機能学、応用糖質化学、生命高分子化学、焼酎製造学、醸造微生物学、応用分子微生物学

生物資源を分子・細胞・生体レベルで解析し食の発展と健康に貢献する

食品に関する幅広い分野について教育・研究する。生物資源を分子から細胞、生体までのマルチスケールで捉え、先進のバイオテクノロジーを駆使して食品素材の新機能探索や評価、焼酎製造や発酵を担う微生物の育種や機能を解明することによって健康で豊かな食生活基盤を支えるための人材を育成します。



主な授業科目

- | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|
| ○ 食品化学 | ○ 生物化学 | ○ 有機化学 | ○ 代謝生化学 |
| ○ 応用微生物学 | ○ 酵素化学 | ○ 細胞分子生物学 | ○ 食品微生物学 |
| ○ 植物性食品学 | ○ 動物性食品学 | ○ 糖質化学 | ○ 焼酎製造学 |
| ○ 食品衛生学 | ○ 分析化学 | ○ 青果保蔵学 | ○ 食品機能学 |
| ○ 醸造微生物学 | ○ 栄養化学 | ○ 焼酎製造学実験 | ○ 食環境微生物学 |

農食産業・地域マネジメントプログラム

主な
学びの
分野

農業経済学、農業市場学、農業経営学、食品保蔵学、食料環境システム学、森林環境教育

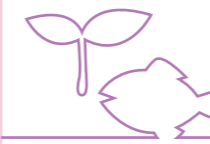
経営・経済学観点から農食産業と地域の持続的発展に貢献する

農食産業の経営・経済的な分析や実践的な技術及び地域マネジメントについて教育・研究する。農食産業の生産から加工・流通・消費までをフードシステムとして捉え、経営・経済学的及び技術論的に理解するとともに、地域を取り巻く諸問題の解決に貢献する実践的な人材を育成します。



主な授業科目

- | | | | |
|-------------|-----------|-----------------|------------|
| ○ フードシステム入門 | ○ 農産物価値理論 | ○ 農業経済学入門 | ○ 食料経済学 |
| ○ 暖地農場実習 | ○ 生物統計学 | ○ 食産業・地域マネジメント論 | ○ 農業経営学 |
| ○ 森林経済学 | ○ 農産物流通論 | ○ 農産物マーケティング論 | ○ 質的研究方法論 |
| ○ 国際農業論 | ○ 農業政策学 | ○ 農村課題解決プログラム | ○ 協同組合を知らう |
| ○ 食品衛生学 | ○ 青果保蔵学 | ○ ポストハーベスト生化学 | ○ 食品プロセス学 |



農学部・水産学部 国際食料資源学特別コース

主な
学びの
分野 } 実用英語、食料資源学、国際水産学
国際農学、国際協力、食料生産と環境
陸域資源、水産資源、海外研修

卒業生の声

鹿児島県教職員
大浦 美幸
生物生産学科
植物生産学コース
平成29年度卒業
鹿児島県立
伊佐農林高等学校出身

夢は大きく!目標に向かって頑張ってください。

今、どのような事をされていますか?
私は現在鹿児島県で農業教員をしています。教員生活7年目に突入していますが、毎日新しい発見があります。生徒と接することで私自身も成長させられています。これからもたくさんの生徒と関わり、鹿児島県の農業を担っていく人材を育成していきたいと思っています。
鹿児島大学を選んでよかったと思うことは?
農業高校からの入学で、学業に不安がありました。友人に協力をしてもらいながら頑張っていました。私は部活動もしながら、教職員課程の受講もしていました。た

くさん苦労はありましたがその分、現在の職に就くことができ、たくさんの出会いもあると感じています。周りの方のおかげで今の自分があります。
後輩に対してメッセージをどうぞ!
大学は、自分が学びたいことを見つけて学ぶことができる場所だと思います。また、様々な進路も開けると思うので、ぜひ入学しそして学んで将来の目標に向かって頑張ってください。



卒業生の声

鹿児島県庁
農業技師
松木田 実季
食料生命科学科
令和3年度卒業
鹿児島県立
甲南高等学校出身

多様な分野から自分の興味を見つけて、楽しい大学生活を

今、どのような事をされていますか?
私は農家の方と接し、生産技術指導や経営発展の支援に関する仕事をしています。健全な栽培に向けて土壌分析診断や病害虫診断なども行っています。特に花きの普及に携わっており、鹿児島県の花の魅力をさらに伝えられるように努力したいと考えています。
鹿児島大学を選んでよかったと思うことは?
私は食に興味があり、特に機能性や健康効果について学びたく食料生命科学科を選びました。この学科で主に食品の機能性について学んでいく中で、農業生産の現場と

の関わりが深いと感じ、興味の幅が広がりました。また、鹿児島県の魅力を新たに発見または再確認できました。
後輩に対してメッセージをどうぞ!
鹿児島大学では焼酎発酵や桜島大根、サツマイモ澱粉など鹿児島特有の産物について学ぶことができます。また、食に関して生産環境から食品の栄養生理や機能性に関わることでまで六次産業的に幅広く学べる環境が整っています。自分の興味のあることを見つけて、様々な経験をしてほしいと思います。



卒業生の声

林野庁 九州森林管理局
西部児湯森林管理署
森林整備官補(森林育成)
永井 純一
生物環境科学科
森林科学コース
平成29年度卒業
千葉県立
柏高等学校出身

自分で見たり、経験した感覚を大切にしてください

今、どのような事をされていますか?
私は現在、林野庁九州森林管理局西部児湯森林管理署で森林伐採後の再造林や下刈などの保育作業、シカ被害対策を行う造林に関する業務を担当しています。林野庁の仕事は他にも、適切な間伐を行い森林の多面的機能を発揮させたり、木材生産を行う森林整備事業、大雨等の災害の軽減・防止や災害復旧を行う治山事業、絶滅の恐れがある希少野生動物の保護、子供たちに向けた森林環境教育など多岐にわたります。
鹿児島大学を選んでよかったと思うことは?
講義の中に屋久島実習や桜島での治山施設の見学があり、その際に森林管理署の方々

が対応してくださったことで林野庁の仕事に興味を持つきっかけになりました。研究室に配属後は、林野庁が取り組んでいる分野を卒業論文のテーマとして研究したため、入庁してから大学で学んだ経験をそのまま活かすことができていると感じます。
後輩に対してメッセージをどうぞ!
農林環境科学科では林業に関する専門的な講義を受けることが出来るだけでなく、現地実習なども多くあり、実際に体感する事で自分がどんな仕事をしていきたいかイメージがしやすくなると思います。林野庁に限らず、将来森林に携わる仕事がしたいと思っている方は農林環境科学科で学ぶことをおすすめします。



取得可能な資格(p11参照)

- 高等学校教諭一種免許(農業)
 - 食品衛生管理者(任用資格※)
 - 食品衛生監視員(任用資格※)
 - 樹木医補
 - 森林情報士2級
 - 自然再生士補
- ※卒業後、食品衛生に関連する職業についた場合に取得できる資格です。

卒業後の進路

- 公務員**
 - 農林水産省 ○林野庁 ○県庁 ○市役所 ○教職
- 農業関係**
 - 農業関係機関・団体 ○農業機械・施設関連企業
- 林業関係**
 - 林業関連機関・団体 ○森林・木材関連企業
- 建築・土木関係**
 - 建設関連企業 ○環境関連企業
- アグリビジネス**
 - 薬品関連産業 ○大学院進学
- 食品関連産業**
 - 化学関連産業 ○環境アセスメント
- 商社**
 - 発酵・醸造関連産業

21世紀の国際的な食料問題に取り組む人材の養成



Question
あなたが本コースを選んだ理由は?
食料問題について農業分野と水産分野の両方に興味があり、国際的な視野をもって幅広く学ぶことができる魅力だと思います。また、他のコースにはない独自のプログラムである海外研修や卒業プロジェクトは、実際に海外で実習や研究を行うことができることを知り、本コースを選びました。
.....
畑中 日向
農学部 国際食料資源学特別コース 3年
鹿児島県出身 鹿屋高等学校卒業

Question
あなたが本コースを選んだ理由は?
本コースを選んだ一番の理由は卒業研究を海外で行える体制が整っているからでした。国際的な食料問題に興味はありましたが、具体的に学びたい分野が決まっていなかった私にとって特別コースは幅広い選択肢を与えてくれるものだと思います。本コースを選びました。
.....
成島 葉納
水産学部 国際食料資源学特別コース 4年
福岡県出身 伝習館高等学校卒業

特別コースの目的

特別コースでは、東南アジア・南太平洋・アフリカを中心とした国際社会を対象として、食料資源の持続的生産とその合理的利用の分野の専門知識を修得し豊かな世界観と倫理観を備え、グローバル化する産業社会に参画し、国際社会に貢献できる進取の精神を持った人材を育成します。

特別コースの教育内容

- 1.国際的な食料資源問題に関する専門的な知識と豊かな教養を体系的に修得します。
- 2.国際的な食料問題に関わる人材に必要な、高い英語能力や異文化理解力を身につけます。
- 3.国際的な食料問題に関わる人材に必要な、高い社会貢献意識と豊かな思考力を育てます。
- 4.農学系学生と水産学系学生と一緒に学び、総合的、複眼的な視野を身につけます。

国際食料資源学特別コース【入学定員22人】
(農学系サブコース:12人+水産学系サブコース:10人)

国際社会における地域間の連携・協力を通じた、食料資源の持続的生産と問題解決のための高度な専門知識を修得する。

- 国際農林水産学
- 国際食料生産学
- 持続的農林水産資源学
- 海外研修
- インターンシップ
- 海外共同研究参画
- 外国語訓練

食料・資源問題について国際的に活躍できるグローバル人材

卒業後の進路

- 就職先**
 - 鹿児島県 ○青年海外協力隊 ○農林水産省 ○明治屋
 - 西原商会 ○マルイチ産商 ○三菱食品 ○日本水産
 - 東海シブロ ○国分グループ ほか
- 進学先**
 - 鹿児島大学大学院農林水産学研究所
 - 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究所
 - 東京大学大学院農業・資源経済学専攻

特別コースの特色

本コースでは、4年次に「卒業プロジェクト」に取り組みます。卒業プロジェクトでは、農学部・水産学部の指導教員の元で、短期留学による海外農水産業の調査や国際機関での実務研修などを実施します。

卒業プロジェクト:ケース①

鹿児島における熱帯作物キャッサバ栽培確立を目指して
熱帯原産のキャッサバ(Manihot esculenta Crantz)は、年間降水量600mm未満の半乾燥から1000mm以上の湿潤環境の天水条件下、さらには低肥沃・酸性土壌でも栽培可能な有用作物です。一方で、国内においては温暖化による気温上昇が報告されており、近い将来の熱帯化について検討しておくことが重要です。そこで、本卒業プロジェクトでは、国内におけるキャッサバ栽培の最適化を行う目的で、鹿児島大学においてフィールド実験を行いました。具体的には、乾物生産量、塊根・デンプン収量、アミロース含量等の経時的変化について調査しました。その結果、塊根収量は生育期間が長くなるほど多くなり、またデンプン収量は熱帯産キャッサバと比較して多いことが分かりました。本研究によって、国内におけるキャッサバの最適な栽培方法の確立に資する基盤情報を得ることが出来ました。



キャッサバの生育中期の調査

卒業プロジェクト:ケース②

マレーシア漁村における生活基盤向上を目指して...
特別コースの学生がマレーシアでプロジェクト活動をはじめから4年がたちました。1年目は日本ならではの水産物の有効利用法を取入れてもらうことを目指し、2年目は地域基盤型の資源利用に関する調査を行って来ました。これらは活動の事前調査に位置づけられるものでしたが、その後はコロナ禍で実際の渡航がかなわない状況でもオンラインにより活動を進め、スマホによる水産物の漁獲報告システムの導入や投棄される魚の残滓の有効利用の提案など地域漁業者とのコミュニケーションから得られた要望に対応する活動に変化しています。アフターコロナの状況下でこれらの活動がさらに現地で深められることが期待されています。



マレーシアの公設市場の視察

農学部は2024年度(令和6年度)に生まれ変わります。

農学部は、これまで構成していた3学科を統合し、農学科1学科体制として新たなスタートを切ります。

1年次では農学の全容を俯瞰する科目とキャリア教育科目を充実し、自らの将来像を意識した後、2年次から4プログラムの専門に分かれて授業科目の履修をします。プログラムに分かれた後も資格・職種など自分の将来像に合わせた科目群の選択が可能となるカリキュラムを導入します。

農学部農学科4プログラムへ移行

3学科 + 1コース
(令和5年度まで)

農業生産科学科
食料生命科学科
農林環境科学科

国際食料資源学特別コース
(農学系サブコース)

1学科4プログラム + 1コース
(令和6年度から)

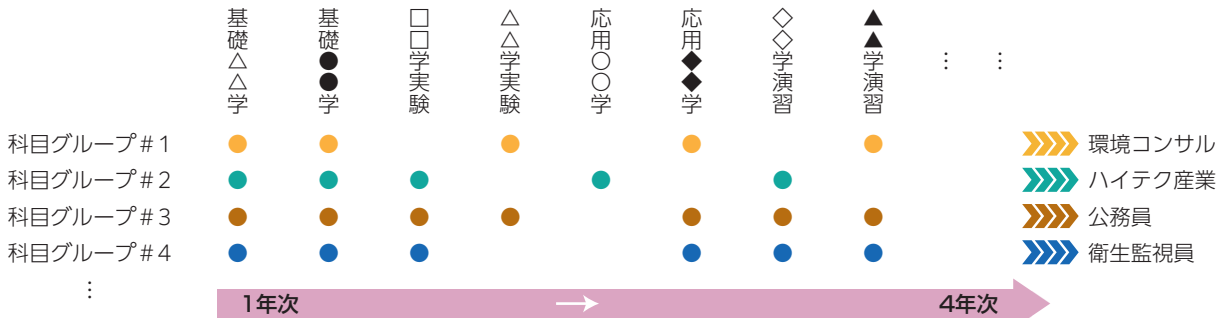
農学科
植物資源科学プログラム
環境共生科学プログラム
食品生命科学プログラム
農食産業・地域マネジメントプログラム

国際食料資源学特別コース
(農学系サブコース)

新しい農学科の3つの特色

- ◎初年次キャリア教育を柱とした学習意欲の醸成
- ◎実践教育と高度な専門知識の修得を両立する農学DX教育
- ◎資格・キャリア・職種に合わせた科目グループの可視化と科目選択の自由度拡大

資格・キャリア・職種に合わせた科目グループの可視化



国立大学法人
鹿児島大学 農学部
FACULTY OF AGRICULTURE KAGOSHIMA UNIVERSITY

〒890-0065
鹿児島市郡元1-21-24 鹿児島大学農学部学務課学生係
TEL: 099-285-3553 FAX: 099-285-3533
<https://www.agri.kagoshima-u.ac.jp>
E-mail: nkgaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

2023年8月発行

鹿児島大学公式マスコットキャラクター

